

社会福祉法人扶助者聖母会
星美ホーム 広報委員会発行
〒115-0053 東京都北区赤羽台4-2-14
TEL: 03-3906-2711 fax: 03-3906-2606
HP: <http://www.seibi-home.jp>
Mail: info@seibi-home.jp
<http://bosco.cocolog-nifty.com/100mt/>
(海拔0からの挑戦:百名山)
カトリック精神を基盤にした児童養護施設です。

星美ホームだより

Seibi-Home newsletter



聖ヨハネボスコ生誕200周年記念

施設長 熊本幸子

最近の異常気象による自然災害のニュースを耳にするたびに心が痛みます。それにも増して、親による子どもの虐待や子どもが親を殺害するような事件の報道を何とも言えない辛いおもいで聞いております。

そんな先が思いやられるような出来事が多い中であって、私たちは未来の希望でもある子どもたちのことを考えながら生活できることに幸せを感じております。子どもたちは日々変化していきますから、色々な心配事にも遭遇しますが、最終的には子どもたちからパワーをもらっていると感ずることも多い毎日です。

星美ホームでは、数年前から子どもたちの家とも言える各部屋を見守ってくれている聖人を選んで、その部屋の名前へと変えてきました。今年、幼児の部屋の名前を変えて完成しました。幼児の部屋の名前は、職員希望により、聖書に出てくるラファエル、ミカエル、ガブリエルの3大天使の名前にしました。ラファエル、ミカエルは旧約聖書に出てきます。ガブリエルは聖母マリアの受胎告知の場面に出てきます。

今年星美ホームの設立母体である修道会の創立者、聖ドン・ボスコの生誕200周年で、世界中が、このことをお祝いする中で私たちも負けずに、200を基調にした色々なイベントを計画し楽しんでいます。

その内容を少しご紹介したいと思います。幼児部では良いことをしたら旗を飾っていただきました。その目的は200旗です。女子の低学年のアイデアでは袋を持つてのゴミ

拾いです。一人200個のゴミを拾っていただきました。6月21日の日曜日にはホーム全体でもイベントをしました。朝、まずシスターたちと子どもたち全員でミサを捧げました。職員と子どもたちのドラマやギターでの伴奏でよく歌っていました。福音書の朗読の後、いつもは神父様がお話くださるのですが、この日は職員が寸劇をし、淋しさや孤独のなかに生きている不良の少年たちがドン・ボスコの「君たちは愛されるために生まれたのだ」とのメッセージを発信しました。このことは、職員たちがドン・ボスコの示した同じ愛で子どもたちを教育していることをアップीलする機会となり、笑いもあり和やかな雰囲気を出してくれました。

ミサ後、運動場に出てみんなで200周するリレーをしました。子どもたちは進んで走りたがり2周、3周する子どももいました。最後の一周は施設長をはじめ職員、児童全員で走りました。1時間ちよつとかかり、予定の時間をオーバーしましたが、子どもたちは皆、満足していました。その後、昼食のメニューは焼き肉やフルーツポンチ、アイスクリーム、綿菓子、かき氷など子どもたちが喜びそうなものばかりで、こられた大喜びでした。

ドン・ボスコは「子どもたちを愛するだけでは足りません。子どもたちが愛されていると感じるものでなければならぬ」と教えています。職員はこのことを目指しながら日々努力を重ねています。

☆星美ホームの理念について

星美ホームの設立母体は扶助者聖母会ふじよしゃせいぼかいという修道会です。創設者はイタリア人の神父ヨハネ・ボスコといわれています。

後に聖人となる聖ヨハネ・ボスコの教育理念は「予防教育法」というのですが、これが星美ホームの理念です。端的要約すれば「宗教・理性・慈愛」の3本柱により、人間教育を目指しています。

神の愛を教え、罰や強制ではなく「対話と納得」で対応し、子ども自身が大切にされていると感じるように「通じる愛」を持って関わることです。

職員は一生懸命子ども達のために尽くすだけでは足りないのです。大切にされているということを子ども達自身が感じるものでなければなりません。そして、そのためには、子ども達が好きなことに職員も興味を示すこと、いつも子ども達と共にいることが良い方法であると、聖ヨハネ・ボスコは言っています。

また、子ども達への対応と同時に大切なことは、私たち「養育者の生き方」だと思えます。私たち職員共同体が互いに尊重し、受け入れ合い聖ヨハネ・ボスコの言う「家族的精神」をもって星美ホーム内で生きるとき、星美ホーム独特のカラー＝「理念」が創られていくと思います。

「子どもを愛するだけでは足りない。

子どもが愛されていることを

感じないといけない。」ドン・ボスコ

ドン・ボスコ アカデミア

1月31日

創設者であるドン・ボスコの生誕200周年を記念して、アカデミアが盛大に行われました。

「コンクール」では、子どもと職員が共に協力し、練習を重ねた歌やダンス、コントなどを披露し、会場を大いに盛り上げてくれました。



ドン・ボスコ200周年イベント

6月21日

ドン・ボスコ生誕200周年をお祝いする記念ミサと、イベントが行われました。ミサの奉納ではドン・ボスコが大切にされた4つの「s」が捧げられました。

- ① studio (勉強)
- ② sanita (健康)
- ③ santita (よい行い・祈り)
- ④ spiritofamily (家族的精神)

イベントでは生誕200周年にちなみ、幼児さんから小中高生、シスター、職員によるグラウンド200周リレーや、大縄跳び連続200回に挑戦し、見事達成することができました。



「大縄連続八の字飛び！ 200回達成！」

ありがとうの会 3月22日

昨年度は、6人の子ども達が社会へと巣立っていきました。「ありがとうの会」では、一人一人が星美ホームでの思い出や感謝の言葉を述べてくれました。幼児期から星美ホームで生活していた子どももおおり、感謝をもって涙する子どももいました。

別れは出会いの始まり。進学する子、就職する子と、状況は様々ですが、星美ホームでの思い出を胸に、頑張つてほしいと思います。



進路情報

◆ 進学 ◆

- ・東京保育専門学校
- ・東京IT会計専門学校
- ・東邦大学 理学部

◆ 就職 ◆

- ・株式会社 スーパーみらべる
- ・株式会社 LDH
- ・スワンベーカーリー

いちご狩り 4月11日

幼児棟でいちご狩りへ行きました。赤く大きないちごが沢山あり、子ども達は目を輝かせながら、美味しいいちごを探しました。

いちごはとても甘く、普段よりも沢山食べることができ、子ども達も大満足。その場は「美味しい!」「見て、こんなに大きいいちごがあったよ!」と子ども達の明るい声が飛び交い、和気藹々とした雰囲気になりました。



ホーム運動会 5月17日

快晴の空の下、毎年恒例の運動会が行われました。普段お世話になっているボランティアの方もご協力いただき、盛大に実施することができました。

子ども達も楽しそうに、そして真剣に参加していました。(下記写真)



京都研修

ケアワーカー

なかしま
中島 竜太郎

各クラスのリーダーと各部の主任が二グループに分かれ、一泊二日で京都の「望洋庵」へ研修に行ってきました。「望洋庵」とは庵主である溝部脩おさむ名誉司教が、明日の社会、明日の教会に貢献することを志す青年男女の為に開かれた庵です。

研修のテーマは「サレジオ会的家族的雰囲気のうちにお互いの交わりの時として関係性を深める」でした。研修ではBONITAの精神や、サレジオ会の成り立ち等を学びました。

権威とは？やさしさとは？そもそも社会福祉の原点とは？溝部司教様との対話の中で、職員一人一人が今まで、そしてこれからの子どもとの関わり方や、立ち居振る舞いを改めて考えさせられる貴重な機会となりました。また、それと同じくして貴重な体験となったのは、溝部司教様と望洋庵が醸し出す雰囲気や、温かい人柄に触れたことです。「愛するだけでは足りない。愛されなくてはならない」と言っています。まずは、自分を見直して、与える前に自分を愛される存在であるのかを改めて考えさせられる研修となりました。



研修風景 (2015年6月3日～4日)

ボランティア紹介

星の子KIDS

小学生を対象に、7月1回の屋外プログラムを計画・実施してくださっています。また、小中学生の学習指導にもご協力いただいています。

VIDES JAPAN

「フレンドシップ」活動として、月1回、幼児さんを対象にプログラムを計画して頂き、交流していただいています。

大泉工場

「ファンフード」という活動を通して、月に1回ポップコーンやかき氷などを機材を使ってその場で作り、子どものおやつとしていただいています。

トライアングル

月に1回、子ども達の散髪に来ていただいています。男の子も女の子もかっこよく、かわいい髪型に満足しています。

東京ガスクリエイターズ

アメリカンフットボールのXリーグに参戦している選手やチアガールの方々が、定期的に遊びに来ていただいています。

他にも多くの方々にご支援いただいております。

ボランティア、寄付のご紹介などは、ホームページからご覧いただけます。

■寄付物品のお願い

今年も星美ホームでバザーを開催致します。衣類・食器(新品のみ)、靴、鞆、おもちゃ、雑貨などの品を集めています。

皆様のご寄付をお願い致します。寄付物品は、お手数ですが星美ホームに直接お持ちいただくか、宅配便でお願い致します。尚、以下の物品は受け付けていませんのでご了承ください。

【受け付けない物】

中古家電製品・家具・本・CD・粗品類
スキー板・損傷の激しい物品 等

バザーの売り上げは全額、在園児および退園児のための社会福祉事業に使わせていただいております。ご理解、ご協力をお願い致します。

バザー 十一月三日(火)

午前十時より

多くの方の来園を
お待ちしております。

平成27年度

苦情解決第三者委員紹介

(あのね委員)

・元民生児童委員主任児童委員

池田 幸 恵 様

・北区更正生保護女性会会長(保護司)

関 晴 美 様

・星美ホーム協力者

奥野 純 子 様

・星美ホーム協力者

松本 敦 子 様

